

# 『荷役物運搬機の水平レベル調整機構』 実用新案登録第 3238223 号

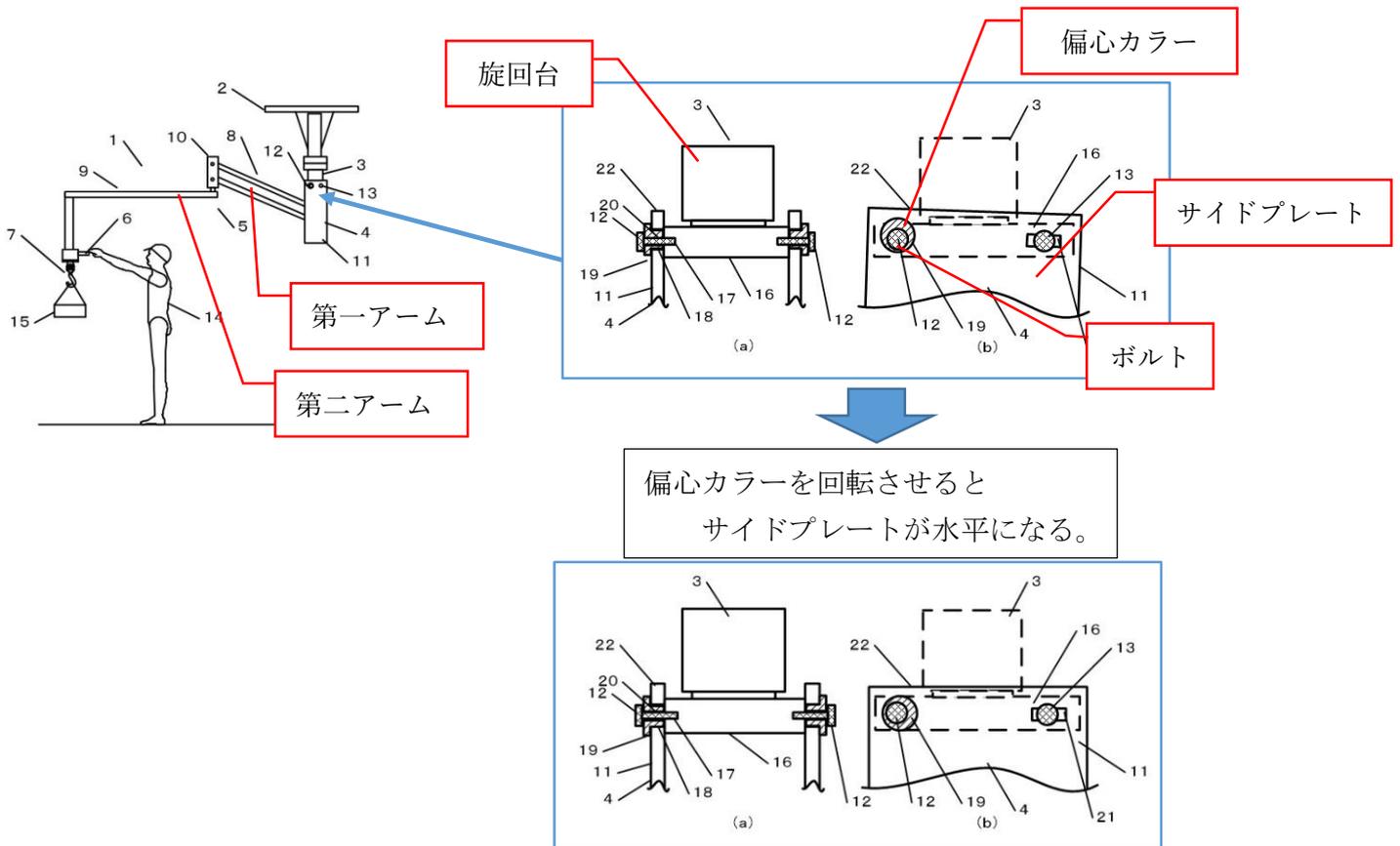
2022年7月14日

アイコクアルファ株式会社

従来、[ラクラクハンド](#)の一部機種で第一アームと第二アームの間のブラケットを分割型にして、その「ブラケットのステー」に“偏心カラー”を嵌合させ、その偏心カラーを回転させる事で第二アームの水平レベルを調整していました（[特許取得済](#)）。しかし、この方法では上第一アームと下第一アームで構成する平行四辺形の形状が微妙に崩れてしまう場合があり、昇降のストロークが長い作業では、第二アームが傾いてしまい、使いづらいものになっていました。そこで、本考案の「本体のサイドプレート」に“偏心カラー”を取り付けることで、様々な機種の本体及びアームの水平レベルを簡単に調整できるようにしました。

## 【実用新案公報の概要】

本体部のサイドプレートに“偏心カラー”をはめ合わせ、その“偏心カラー”に固定用ボルトを挿入させてサイドプレートと旋回台を固定します。サイドプレートが水平でない場合は、ボルトを少し緩め、“偏心カラー”を回転させ本体部の水平レベルを調整します。（※詳細は、[\[実用新案公報\]](#)でご確認ください）



[考案者：開発担当 下村和樹]



従来は一部のスカラ式アームのブラケットに適用されていた機能を、スカラ型及びパンタグラフ式のサイドプレートにも応用できる機構に見直す事で設置状況や負荷状態に応じて細かな水平レベル調整ができるようになりました。今後商品化する新機種には、すべて搭載予定です。